

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	命の重み	事務局	253
学校名	新庄市立 日新中学校	氏名	海老名 咲和

私は、小さい頃から、人を助ける仕事がしてみたく、職場体験の機会に新庄徳洲会病院に行きました。職場体験の前は、どのような見学をさせてもらうのか、失敗してしまわないのかと不安でいっぱいでした。

職場につくと、少しもたたない内に着がえを行い、オリエンテーションが始まりました。院内でのルールや仕事の流れの確認をし、いざ院内見学を試みると、普段は入るこたができない場所に入るこたができて、とても緊張しました。手術室やMRI室を見学させてもらうと、たくさんの機械が並んでいて、命を守る準備が整っており、患者さんの体の中を詳しく調べるこたができて、説明を受けました。医療の安全管理の大切さや医療現場では、多くの人が協力し、患者さんの命を守るために努力していることを学びました。

手術に使う器具や機械は1つ1つ役割があり、室内はとても清潔で感染を防ぐために厳しい衛生管理が行われています。さらに検査中は、患者さんが動かないようにある工夫や画像を解析する技師の仕事についても知るこたができました。見学を終え、さらに実際に患者さんと交流をある機会もありました。中には、耳が聞こえにくい方もいて、私は、できるだけ大きな声ではっきりと話すように心がけました。このとき、医療は技術だけではなく、患者さんに寄り添う気持ちやコミュニケーションがとても大切だと実感しました。ご飯やお茶を提供する場面では、1人1人に合わせた工夫や、持ちやあい位置に置く事で患者さんが安心して過ごせるようによく考え、行動しました。

今回の体験を通して、医療現場では高度な技術や厳しいルール、そして人を思いやる気持ちが必要だということを知りました。命を守る仕事の責任の重さを感じ、将来、人の役に立つ仕事をしたいたいという気持ちが強くなりました。